

2009年12月2日記

弱いとされる4歳世代馬3頭をがんじがらめに買ってみる

まず、ジャパンカップの反省から書く。本当は、ギャンブルに反省などありえないのだが、たまに当てにあってハズしたのだから、ショックが大きい。オウケンブルースリは瞬発力勝負に適さないと切ってしまったことが、大反省点である。

オウケン以外に選んだウオッカ、レッドデザイア、コンデュイットの3頭は、すべて着に來た。オウケンがいなければ、馬券はすべての的中していた。本当にアホである。

今回のジャパンカップは、予想通り、高速馬場の時計決着。レコードに0秒3差の激闘だった。だから、ブリダーズカップ馬コンデュイットが負けたのは、関係者が言うような疲れが原因ではない。瞬発力がウオッカより劣っただけだ。

そこで、有馬記念だが、ウオッカが出ない以上、オウケンが本命になるだろう。

しかし、中山は高速ハイウェイではなく、コース形態からノーマルスピードの粘り込み馬場だ。だから、オウケンは今回と同じ乗り方では届かない。むしろ、今回よく粘ったリーチザクラウンやエイシンデュピティのほうが怖い。

メンバーがどうなるかまだわからないが、私としては、エイシンデュピティから、もう1度当てるために買ってみたいと思っている。

で、今週はジャパンCダート。

ジャパンカップをハズしたので、すっかりやる気がなくなっている。前評判は、史上最強世代の現7歳世代vs.3歳世代ということらしいが、そんな対決図式は勝手にマスコミ（人間）がつ

くったものだ。7歳馬のG18勝馬ヴァーミリアン中心に、3歳世代のワンダーアキュートやスーニがどう挑むかということらしい。

しかし、走る馬のほうは、自分が何歳かも知らないだろう。ただ、単にまわりの馬たちと走るだけだ。

当てようとしても当たらないのが競馬。それなら、人間がつくったこの図式をあえて無視し、前走惨敗の4歳馬サクセスブロッケンと、出ていたら本命視された米G1馬サマーバードの付けたしのティズウェイ（やはり4歳）を買おうと思う。

さらに4歳馬はといえば、エスポワールシチーがいる。なんと、この3頭しか4歳馬は出ていないのだ。こんな簡単に馬券を買えるレースはないだろう。

で、結論は、「4歳馬3頭がんにがらめ買い」。

ただ、やはり若い3歳のほうが怖い。ワンダーアキュート、スーニ、ゴールデンチケット。この3頭のがんじがらめ買いのほうが、ずっと確率は高そうだ。